



# 緑の風



伸びています書く力！

学校教育目標「夢に向かって 心豊かに たくましく生きる子ども」  
～“自分で考え みんなと創る” 楽しい ふるさとの学校～

## 今年度最後の“PTA学習参観”



最後の大切なPTAでしたが、暴風雪警報が出されていることから、急な日程の変更による実施となり、大変ご迷惑をおかけしました。また、狭い駐車場のため、徒歩での参加など、たくさんのご協力に感謝申し上げます。

それでも、授業参観前後の降雪量が少なくなり、出席率100%の学年も多く、無事に子どもたちのがんばる姿や、心の成長を感じ取っていただけたのではないのでしょうか。各学級の様子を紹介します。



1年生は、心の勉強でも、自分の気持ちをたくさん書けるようになりました。



2年生は、漢字のクイズを自分でつくって、友だちと解き合って楽しさ満点！



あゆみの2人は、前の日の「なかよし教室」の様子を上手に新聞にまとめました。



3年生は、しっかりと落ち着いて、人の“よさ”について考えていました。



5年生は、全員が教室の真ん中を向いて、「親切な心」と向き合っていました。



6年生は親にサンドイッチをごちそうしながら、感謝の思いを伝えました。



4年生は赤ちゃんの頃からの写真スライドで、これまでを成長を振り返りました。

## 保護者の皆さんとの「地区児童会」

お家の皆さんと一緒に、今年度の登下校を振り返って、来年度の登校班や連絡網を確かめてもらいました。

以前よりも、冬の車での送迎や災害時の対応など、連絡調整や安全への配慮が多くなってきています。

どうか、各地区での互いの情報と意思の疎通を大切に、地域みんなで子どもたちの安全・安心を守ってくださるようお願いいたします。



## ALTによる「ディスカバー大仙」

大仙市内の各小・中学校で英語の指導をしているALTの皆さんが、市の自然や文化などを英語で紹介しました。会場のふれあい文化センターには、全小・中学校の代表やふるさと博士に認定されている人たちが集まりました。本校では、ふるさと博士の6年生・鈴木綾夏さんと5年生の佐藤周明さんが会場で参加しました。周明さんは、大勢の人の前で自分から手を挙げてふるさと横堀のよさを発表しました。堂々とした姿がカッコよかったです。

学校では、5、6年生が各教室でリモートによる参加をしました。そこでも進んで挙手する子どもたちがいました。

“発信”の横堀小が見えてきています。

～6年生の細井藍花さんの感想～

いつも見ている普通の景色やお祭りも、外国の人からすれば、すばらしい文化なんだなあと思いました。普通だと思っていないで、もっと他の人に「こんなすごいものがあるんだよ！」とPRしたいです



## ひまわり班による“全校ウォークラリー”



先週、運営委員会主催の、たてわり班でクイズを解く“ウォークラリー”が開催されました。

「仙北中学校から横堀小学校まで、何本の橋がかかっているでしょうか？」

「範子先生は、前にこの学校に、何年間いたでしょうか？」

このような難問が教室や図書館にたくさん貼られていて、相談しながら答えを決めていました。(ちょっと、密です！)

掃除も毎日一緒にしている、なかよしチームなので、手をつなぎながら、やさしく導く高学年の姿がとても温かかったです。きっと、高学年の子どもたちも、こうしてやさしくしてもらえたのだと思いました。“やさしさの心がつながる学校”は、素敵です。



## 高校生の先輩と勉強しました

2月初めの2週間、本校出身の先輩である2人の高校生が、主に5、6年生の勉強のお手伝いをしてくださいました。これは高校生助手派遣という事業で、大学への進学が決まっている高校3年生が自主的に参加するものです。

写真の左は、伊藤慧悟さん、右が杉山夏泉さんです。最終日はキャリア教育の授業として、2人の中学校や高校での勉強と部活動、手踊り等との両立の大変さや楽しさなどの生の声を子どもたちに届けてもらいました。

将来の『夢』を、とっも大切にしている本校です。ので、24才の自分を意識しながら、今できることや中学校でがんばることを見つめる時間ができました。

きっと、この5、6年生の中にも、2人の先輩のように、横堀小学校に来る人がいるのでしょうか。



## みんなのがんばり紹介

### 大仙市読書通帳

100冊賞	6年・長澤美来さん
50冊賞	5年・篠原蒼生さん
	2年・草薨桃子さん
	1年・篠原稜生さん、長澤美咲さん

### 大曲仙北社会科研究発表会・誌上发表会

奨励賞	5年・佐藤周明さん	「黒毛和牛の歴史を語る」
	2年・伊藤愛深さん	「鳥海山と高山植物について」

